

チャレンジ項目記入数 12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		職員会議等で年1回以上(R6年度は4月)は共有する場を設けており、保護者に対しては重要事項説明書や見学会や個人面談にて周知している									8	9							17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		児童福祉法、保育所保育指針をはじめ就業規則に定めた内容に基づき法令遵守に努めており、「先生」と呼ばれる職であることを認識している																	16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		経理規程に則り、2社以上の見積りをとり、適正な価格で公正な取引を遵守しているか確認し、備品購入に関しても職員に周知している											10							16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		SDGsに関することや取り組みについて担当を園長及び事務局が担い、窓口となっており、職員にも周知している																		16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		知的財産保護の重要性について職員会議等で共通理解し、保護者に対してはお便り等を通じて呼びかけを行っている									8.2 8.3	9								16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		年1回以上(R6年度は4月)の個人情報の適切な取り扱いの研修を行い、個人情報保護に取り組んでいる																		16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・投書箱を設けたりアンケートをとることでご意見ご要望を把握し、対応するように努め、委員会も設けている ・必要に応じて面談を実施したり、会話を設けている																	16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●								5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●											9		11		13.1					16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・健康・平等・地域参画など社会福祉法人としての役割をふまえ福祉関係者としての人材育成を行っている ・後継者として園外への研修にも積極的に参加するなど育成に取り組んでいる									8	9								17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別・年齢・障がい・国籍・出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・適正な雇用で差別のない職場環境の整備に取り組んでいる ・ハラスメントの禁止について就業規則に定めている					4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・定期的に職員が園の運営全般の安全点検を行い、事故防止に取り組んでいる ・交通事故防止研修を実施している			3						8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		同一労働同一賃金の考え方、取り組みについて全職員に周知し、職員(正職員・準正職員・パート職員)の適正な待遇を行っている					5.5			8.5		10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●		・シフト制での勤務体制を構築し組織全体で取り組んでいる ・育児・介護休業規程についても2022年10月施行を前倒しし、2022年4月より施行している			3		5.5			8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		園内研修や会議等の時間を設け指導・育成に取り組み、園の若手の人材育成及びキャリアアップを目的とした研修も職種に制限をかけることなく全職員が自主的に受けられる体制を構築している				4	5.5			8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・全職員に対し健康診断受診を園の費用負担で行っている ・各種ワクチン接種を推奨している ・希望者にはインフルエンザ予防接種を園負担で接種できるようにしている			3					8									17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		保育士資格にとらわれず、子育て支援員等の無資格者でも働く環境を構築し、採用を行っている				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・感染症対策として定期的な換気やアルコール消毒を行い、オゾン殺菌を導入している ・研修もウェブを導入している(R6年度は8名がウェブ研修修了により資格取得)			3					8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●						3	4				8	9.1		11	12						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●								3	4			8	9		12						

チャレンジ項目記入数 12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・日々のゴミの分別に務め、産廃業者に依頼し廃棄を行っている ・グリストラップ清掃を定期的に業者へ依頼している			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		毎月の電気使用量を把握し、電気をLED化するなど、削減への取組みを進めている							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・毎月の燃料使用量を把握している ・落ち葉等はコンポストや畑に埋め土に戻す事で、処分のCO2排出量を減らしている	2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		自然を大切にすることや生き物の命の大切さ・生態系についても保育活動の中で取り組んでおり、物品購入時はエコパックを利用しレジ袋の使用削減に取り組んでいる					6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		制作物等には積極的にリサイクル材料を取り入れている								9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・水遊び後の水や米のとぎ汁を菜園活動や花や植木の水やり等で2次使用している ・手洗いの際の節水について保育を行い、園全体で節水に取り組んでいる	2.4					6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5		14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		同じ内容の商品であれば、プラスチックが使われていない等の詰め替え専用品を積極的に選ぶようにしている							9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。	●	●	園児の出欠をできるだけ把握し、欠席者の給食材料等はキャンセルし、フードロスの削減に取り組んでいる	1	2				6.4					12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●	●	園の畑を利用して野菜栽培を行っている(R6年度は大根・トマト・きゅうり等の6種類) 【予定】R7年度は10種類										11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		園庭フェンスにツタをはわせ、年に2回は花を植え替え植樹活動を行っている					6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		職員研修の一環として海岸のゴミ拾い活動を行っている										12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●	●											11.6 11.a	12.8	13				17.2	

チャレンジ項目記入数 12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		ご要望窓口を設けたり、アンケート調査・投書箱を設置することにより、保護者の声を聴き、内容の共有と、改善につなげている			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		発達障害のある子どもも含めすべての園児が心地よく生活を送れるよう個々に応じた対応を行い、誰もが利用しやすい環境づくりに取り組んでいる									9.1	10	11.7					17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●		2.3 2.4						7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●							7					12.2	13.1		15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	社会課題である人権問題・虐待問題の研修を年1回以上(R6年度5月)行い、質の良い平等な保育を提供できるように取り組んでいる	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●		2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		地域の老人ホームへのボランティア訪問や、園児のお散歩の際のゴミ拾いを行っている	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・避難訓練で、火災・地震・風水害の訓練を行っている ・避難場所もハザードマップとともに利用者に周知している				4								11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	熊本市幼年消防クラブに参画し、各家庭はもちろん、地域住民への防災啓発活動を行うとともに、意識の向上に取り組んでいる	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	職員研修を行い、SDGsに関する理解を深めることはもちろん、園だより等で保護者にも周知を図っている	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受け入れ】 ・職場体験、インターンシップの受け入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	地域の小学校・中学校・高校等の学生のインターンシップや職場体験を積極的に取り入れている				4					8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	実習の学生に対し、面接を進めたり、地元で働くことの意義を伝えるとともに、地元の学生のインターンシップからの採用等、積極的な採用に取り組んでいる				4.4					8.5 8.6								17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	保育活動において各クラス畑で野菜を栽培し、発表会では野菜の主人公の劇を取り入れるなど、農林水産教育を行う事で将来の選択肢の一つに含まれるようにしている		2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。